



2020年12月24日

各位

東京都新宿区西新宿3丁目20番2号
株式会社クロス・マーケティンググループ
代表取締役社長兼CEO 五十嵐 幹
(コード番号：3675 東証第一部)
問合せ先 取締役CFO 小野塚 浩二
(TEL. 03-6859-2250)

株式会社ドゥ・ハウスの株式取得及び事業連携に関するお知らせ

当社は、2020年12月24日開催の取締役会において、下記のとおり株式会社ドゥ・ハウス（以下、ドゥ・ハウス社）の株式及び新株引受権を取得し、事業連携する旨を決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 株式及び新株引受権取得の目的

当社は、インターネットリサーチを祖業とし、顧客のニーズや市場環境の変化に対応し、販売チャンネル・サービスを拡充し、主力事業であるリサーチ事業を軸としながら、ITソリューション事業やプロモーション事業等の周辺領域へ展開することで総合マーケティングソリューションサービスを提供する企業としてグループの成長を継続してまいりました。

今後も成長を継続し、次なるステージへの変革を進めるためには、DXをはじめとするデジタルマーケティング領域の進化が必要不可欠と考えており、直近ではリサーチ手法のデジタル化や顧客のDX化を推進する取り組み、D to C支援等の新しいビジネスモデルに対応したサービスを展開すると共に、最新技術を活用したサービスを展開するスタートアップ企業の支援も実施しながら、新たな時代に対応すべく体制を整えております。

また、新型コロナウイルス感染症拡大により、世界中で社会の在り方や消費者の生活スタイルなど様々な面で変化を余儀なくされたことで、従来進んでいたデジタルシフトは加速し、マーケティング市場におけるビジネス環境が急速に変化しており、当社グループとして環境変化への対応をより一層強化することが必要不可欠であると認識しております。

そのなかで、ドゥ・ハウス社は、550万人の生活者のネットワークを活用し、首都圏を中心にマーケティングサービスを展開しています。プロモーション事業の「モラタメ※1」「テンタメ※2」は、サンプリングを通じた商品プロモーションを、オンラインとオフラインで効果的に展開するためのサービスとして、メーカーの商品開発や商品育成支援をはじめとした多目的なマーケティングニーズにこたえています。

本件により、当社において従来推し進めていたデジタルマーケティング領域におけるさらなる事業展開が可能となり、プロモーションサービスの領域拡大、顧客層拡大によるクロスセル効果が期待できるほか、パネル強化により新サービス・領域への取り組みをさらに推し進めることが可能となり、グループの持続的成長に資すると判断したことから、当社はドゥ・ハウス社との協議を進め、株式譲渡契約及び新株引受権売買契約の締結を決議いたしました。

尚、新株引受権につきましては、株式譲渡の実行手続きに合わせて取得・行使し、子会社化することを目的として取得を決議しております。

※1：ネット上でのサンプリングを通じて、商品の魅力をオンライン上にてクチコミで伝えるサービス

※2：85万人のテンタメ会員に対して、店頭でのサンプリングをオンラインで促進し、商品のクチコミやアンケートによる店頭調査に繋げるサービス

2. 株式会社ドゥ・ハウスの概要

(1) 名 称	株式会社ドゥ・ハウス		
(2) 所 在 地	東京都港区新橋6丁目20番2号		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役会長 高栖 祐介 代表取締役社長 小笠原 亨		
(4) 事 業 内 容	首都圏を中心に、マーケティングサービス事業を展開。 生活フィールドと流通フィールドの2つのマーケティングフィールド に対して、プロモーション及び定性情報リサーチ等を提供。		
(5) 資 本 金	4億3750万円		
(6) 設 立 年 月 日	1972年3月3日		
(7) 大株主及び持株比率	株式数 (比率)		
	稲垣 佳伸	190,518株(31.2%)	
	株式会社 VOYAGE GROUP	133,227株(21.8%)	
	トランス・コスモス株式会社	65,000株(10.7%)	
	株式会社 GDL	65,000株(10.7%)	
	高栖 祐介	49,674株(8.1%)	
	ドゥ・ハウス従業員持株会	24,352株(4.0%)	
	ドゥ・ハウス役員持株会	21,855株(3.6%)	
	株式会社アスマーク	12,975株(2.1%)	
	その他(個人)	47,305株(7.8%)	
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	該当事項はありません	
	人 的 関 係	該当事項はありません	
	取 引 関 係	弊社子会社において、リサーチサービス、プロモーションサービスにおける販売、仕入れ先であります。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません	
(9) 当該会社の最近3年間の連結経営成績及び財政状態(百万円)			
連 結 決 算 期	2018年9期	2019年9期	2020年9期
連 結 純 資 産	700.8 百万円	682.2 百万円	703.1 百万円
連 結 総 資 産	1,337.8 百万円	1,401.5 百万円	1,575.1 百万円
1株当たり連結純資産	1,149円07銭	1,118円60銭	1,152円72銭
連 結 売 上 高	2,725.3 百万円	2,998.9 百万円	3,333.4 百万円
連 結 営 業 利 益	△90.2 百万円	△12.1 百万円	9.9 百万円
連 結 経 常 利 益	△86.8 百万円	△10.7 百万円	20.2 百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	△80.9 百万円	△14.0 百万円	△117.3 百万円
1株当たり連結当期純利益	△133円34銭	△22円91銭	△192円35銭

※新株引受権の保有状況

新株引受権の保有状況	引受権数（行使時の株式数）	
	稲垣 佳伸	55 個（71,363 株分）
	高栖 祐介	26 個（33,735 株分）
	ドウ・ハウス役員持株会	18 個（23,355 株分）
	柿沼 宏爾	3 個（3,892 株分）
	小笠原 亨	3 個（3,892 株分）
	その他（個人）	8 個（10,379 株分）

3. 株式取得の相手先の概要

(1) 氏 名	稲垣 佳伸、高栖 祐介、役員持株会他、個人 7 名
(2) 住 所	個人のため記載を省略しております。
(3) 上場会社と当該個人の関係	該当事項はありません。

4. 取得株式数、取得価額、取得前後の所有株式の状況

(1)	異動前の所有株式数	0 株
		(議決権の数：0 個)
		(議決権所有割合：0%)
(2)	取得株式数及び 新株引受権数	株式 264,077 株（議決権の数：264,077 個） 新株引受権 107 個（138,834 株分）
(3)	取得価額	(株)ドウ・ハウスの普通株式 約 370 百万円（一株当たり 1,400 円）
		(株)ドウ・ハウスの新株引受権 約 87 百万円（一個当たり 817 千円）
		新株引受権の行使価格 約 107 百万円（一株当たり 771 円）
		アドバイザー費用等 約 4.5 百万円
	合計（概算額）	約 569 百万円
(4)	異動後の所有株式数	株式 264,077 株 新株引受権 107 個（138,834 株分）
		(議決権の数：264,077 個、議決権所有割合：43.30%) ※株式が異動した時点での議決権の数、所有割合を記載しております。

※尚、本件は新株引受権の取得・行使を前提とした取引であり、新株引受権を取得・行使した場合の保有株式数及び議決権所有割合は 402,911 株・53.26%となり、連結子会社とする予定です。

5. 日程

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| (1) 取締役会決議日 | 2020 年 12 月 24 日 |
| (2) 株式譲渡契約・新株引受権売買契約締結日 | 2020 年 12 月 24 日 |
| (3) 新株引受権譲渡 | 2020 年 1 月 8 日（予定） |
| (4) 株式譲渡実行・新株引受権行使 | 2021 年 1 月 12 日（予定） |

6. 今後の見通し

本件株式取得による当社グループの連結業績への影響については、連結開始が2021年12月期を予定しているため、今期（2020年12月期）の業績には影響ありませんが、開示すべき事項が発生した場合には速やかにお知らせいたします。なお、2021年12月期の連結業績に与える影響については2021年2月15日に予定されている2020年12月期通期決算発表にて公表する予定としております。

以上